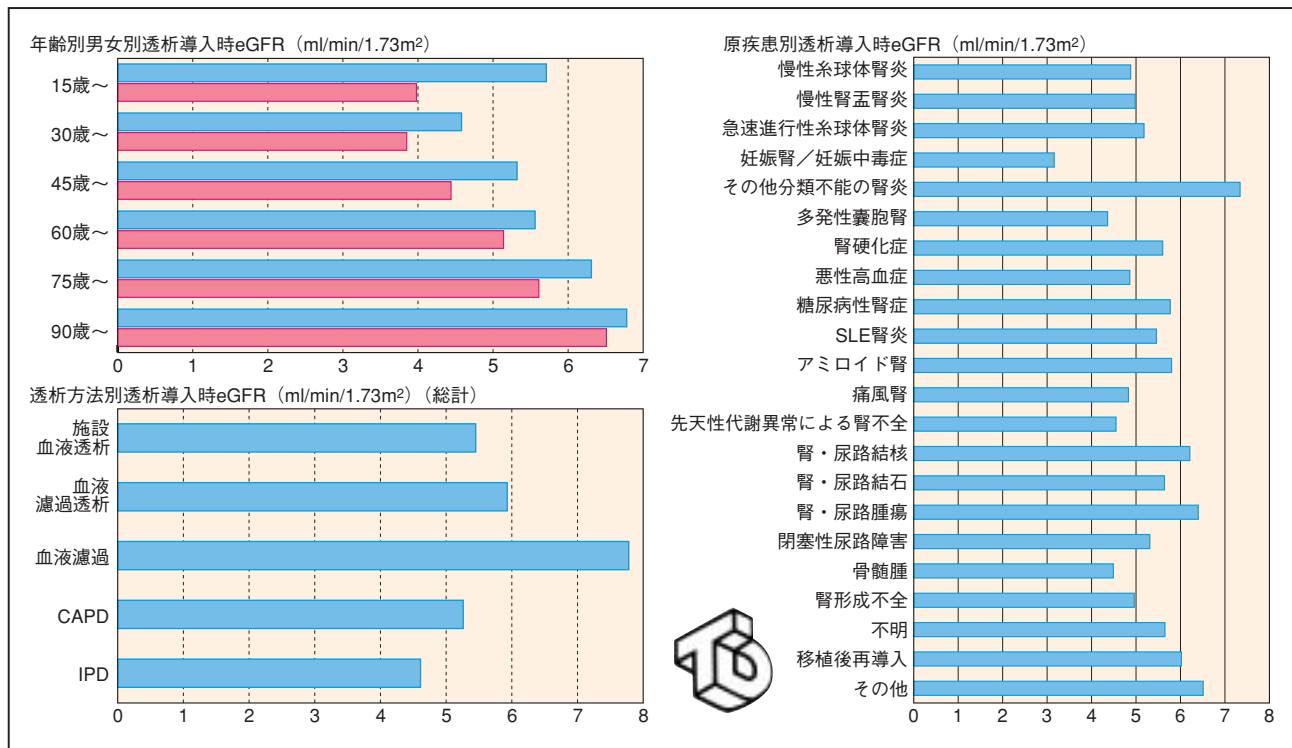


### 3) 新規透析導入患者調査の現状

#### (4) 透析導入時糸球体濾過値 (eGFR ml/min/1.73m<sup>2</sup>) (図表38)



年齢	平均eGFR (ml/min/1.73m <sup>2</sup> )		
	男性	女性	総計
15歳～	5.71	3.98	5.01
30歳～	4.58	3.85	4.34
45歳～	5.32	4.44	5.04
60歳～	5.56	5.14	5.42
75歳～	6.31	5.61	6.01
90歳～	6.78	6.51	6.65
合計	5.67	5.12	5.47

治療方法	平均eGFR (ml/min/1.73m <sup>2</sup> )		
	男性	女性	総計
施設血液透析	5.63	5.12	5.45
血液濾過透析	6.52	4.90	5.93
血液濾過	8.00	7.06	7.78
CAPD	5.39	5.02	5.26
IPD	4.83	3.72	4.61

原疾患	平均eGFR (ml/min/1.73m <sup>2</sup> )
慢性糸球体腎炎	4.88
慢性腎盂腎炎	4.98
急速進行性糸球体腎炎	5.18
妊娠腎/妊娠中毒症	3.16
その他分類不能の腎炎	7.34
多発性嚢胞腎	4.36
腎硬化症	5.60
悪性高血症	4.86
糖尿病性腎症	5.77
SLE腎炎	5.46
アミロイド腎	5.80
痛風腎	4.83
先天性代謝異常による腎不全	4.55
腎・尿路結核	6.21
腎・尿路結石	5.64
腎・尿路腫瘍	6.40
閉塞性尿路障害	5.31
骨髄腫	4.49
腎形成不全	4.96
不明	5.65
移植後再導入	6.02
その他	6.51

#### 解説

推算糸球体濾過値 (eGFR ml/min/1.73m<sup>2</sup>) で示した透析導入時腎機能を検討した。なおeGFRの計算は、MDRD式に日本人係数をかけたもの (Clin Exp Nephrol 2007 Mar;11 (1):41-50.)で、血清クレアチニン測定がヤッフ法では、eGFR(男) = 186 \* (初回透析前クレアチニン - 1.154) \* (透析導入時年齢 - 0.203) \* 0.881、酵素法ではeGFR(男) = 175 \* (初回透析前クレアチニン - 1.154) \* (透析導入時年齢 - 0.203) \* 0.741とし、それぞれ女性の場合には0.742を乗じた。eGFRで示した透析導入時腎機能は、女性のクレアチニン濃度が男性より低値であるにもかかわらず、男性より低値であった。また年齢別では15歳未満のeGFRはMDRD式での推算は不可能であり、省略した。15歳以上の患者群での検討では、血清クレアチニン濃度で評価される腎機能と若干異なり、30～45歳が最も透析導入時腎機能が低く、15歳～30歳、45歳～60歳がこれに次いでいた。治療法別では、血清クレアチニン濃度でみた腎機能と同様の傾向であった。原疾患別でのeGFRは血清クレアチニン濃度で評価される腎機能と同様の傾向であった。